
「広島県がん対策推進計画（第2次）」の 策定に当たって



本県では、平成 20 (2008) 年 3 月に第 1 次の「広島県がん対策推進計画」を策定し、更に平成 22 (2010) 年には、県政の基本方針となる「ひろしま未来チャレンジビジョン」に「がん対策日本一」を掲げ、本県における優先課題としての位置付けを明確にして、がん対策に取り組んできました。

しかしながら、がんは、昭和 54 (1979) 年以降 30 年以上連続して本県の死亡原因の第 1 位という状況が続いており、今もなお、高齢化の進展等を背景に、がんによる死亡者数は増加しています。

こうした中、本県においては、社会情勢の変化や新たな課題にも対応するため、この度、第 2 次の「広島県がん対策推進計画」を策定いたしました。

本計画の検討に当たっては、「広島県がん対策推進協議会」の公募による 5 名の県民委員にも御参加いただいたほか、がん患者団体ヒアリングやワークショップ、県内 9 地域でのタウンミーティングを開催するなど、患者や県民の皆様の意見の反映に、積極的に取り組んでまいりました。

本計画では、専門医療機関に加え身近な地域に相談医を配置し、全国的にも例のない、地域をくまなくカバーする医療体制の構築を進めていきます。また、患者や家族の視点に立った新たな取組として、がん経験者が同じ立場で不安や悩みに寄り添う相談の仕組みづくりや、がん患者の仕事と治療の両立支援、地域包括ケアとしての在宅緩和ケア支援体制の構築などにも重点的に取り組み、県内どこでも、あらゆる場面に対応する隙間のない総合対策として、これまで推進してきた「がん予防」、「がん検診」、「がん医療」、「緩和ケア」、「情報提供及び相談支援」、「がん登録」の 6 つの柱を一層強化いたします。

本計画は、県民の皆様の安心と生活の質の向上に向けて、「がん対策日本一」を実現するためのものです。関係者の皆様はもちろんのこと、自分にはがんは関係ないと思われる皆様も一緒に、県民総ぐるみとなって、「がん対策日本一」への挑戦をお願いします。

平成 25 (2013) 年 3 月

広島県知事 湯 崎 英 彦
